

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2016年2月15日まで（当初、無期限）
主要投資対象	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。）を主要投資対象とします。
運用方針	<p>①主として、投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。））に投資し、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。</p> <p>②運用にあたっては、新興国を含む世界各国の公社債等（日本を除く）への分散投資を目的として、以下に掲げるマザーファンドの受益証券およびケイマン籍円建外国投資信託の受益証券に、それぞれ以下に定める範囲内で投資します。</p> <p>【証券投資信託】 しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ……30%（±10%） しんきん米国ソブリン債マザーファンド ……20%（±10%） しんきん高格付外国債券マザーファンド ……30%（±10%）</p> <p>【ケイマン籍円建外国投資信託】 ウェリントン・マネージメント・ポートフォリオズ（ケイマン）－エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ（適格機関投資家限定）・円ヘッジなしクラスSユニット……20%（±10%）</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>⑤市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>①上記投資信託証券、短期社債等コモディティ・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。</p> <p>②外貨建資産への直接投資は行いません。</p>
収益分配方針	<p>毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。</p> <p>②分配金は、利子・配当収益等を中心に安定した収益分配を行うことを目指し、委託会社が基準価額等を勘案し決定します。</p>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
 <コールセンター> ☎ 0120-781812
 （土日、休日を除く）携帯電話・PHSからは03-5524-8181
 9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

運用報告書（全体版）

しんきんグローバル債券ファンド （奇数月決算型） 愛称：金利の卵

第45期（決算日：2015年9月18日）
 第46期（決算日：2015年11月18日）
 第47期（決算日：2016年1月18日）


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんグローバル債券ファンド（奇数月決算型）」は2016年1月18日に第47期の決算を行いました。

ここに、第45期から第47期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<http://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきんグローバル債券ファンド（奇数月決算型）	頁
最近15期の運用実績	1
当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
当作成期中（第45期～第47期）の運用経過等	3
1万口当たりの費用明細	5
売買及び取引の状況	5
利害関係人との取引状況等	6
組入資産の明細	6
投資信託財産の構成	7
資産、負債、元本及び基準価額の状況	7
損益の状況	8
分配金のお知らせ	9
お知らせ	9

○最近15期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み騰落率		しんきん欧州 ソブリン債 マザーファンド 組入比率	しんきん米国 ソブリン債 マザーファンド 組入比率	しんきん高格付 外国債券 マザーファンド 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		円	%	%	%	%	%	百万円
33期(2013年9月18日)	9,565	40	△1.0	29.6	19.8	29.8	19.9	62
34期(2013年11月18日)	9,747	50	2.4	29.9	19.8	29.6	19.5	61
35期(2014年1月20日)	10,009	50	3.2	28.8	19.0	29.0	21.8	60
36期(2014年3月18日)	9,973	50	0.1	29.9	19.8	30.1	19.6	60
37期(2014年5月19日)	10,082	50	1.6	29.8	19.9	29.8	19.6	59
38期(2014年7月18日)	10,057	50	0.2	29.5	19.7	29.8	20.0	57
39期(2014年9月18日)	10,411	50	4.0	29.7	19.8	29.9	19.7	57
40期(2014年11月18日)	11,066	50	6.8	29.8	19.7	29.7	19.8	60
41期(2015年1月19日)	10,897	50	△1.1	28.6	20.2	30.0	20.3	59
42期(2015年3月18日)	10,754	50	△0.9	29.6	20.0	29.6	19.8	58
43期(2015年5月18日)	10,935	50	2.1	30.3	19.7	30.2	18.9	62
44期(2015年7月21日)	10,837	50	△0.4	29.5	19.7	29.4	20.4	59
45期(2015年9月18日)	10,542	50	△2.3	29.4	19.2	29.2	20.6	56
46期(2015年11月18日)	10,522	50	0.3	29.1	19.2	29.1	20.3	55
47期(2016年1月18日)	9,961	50	△4.9	—	—	—	—	45

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは、複数の投資信託に分散投資を行うことで、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

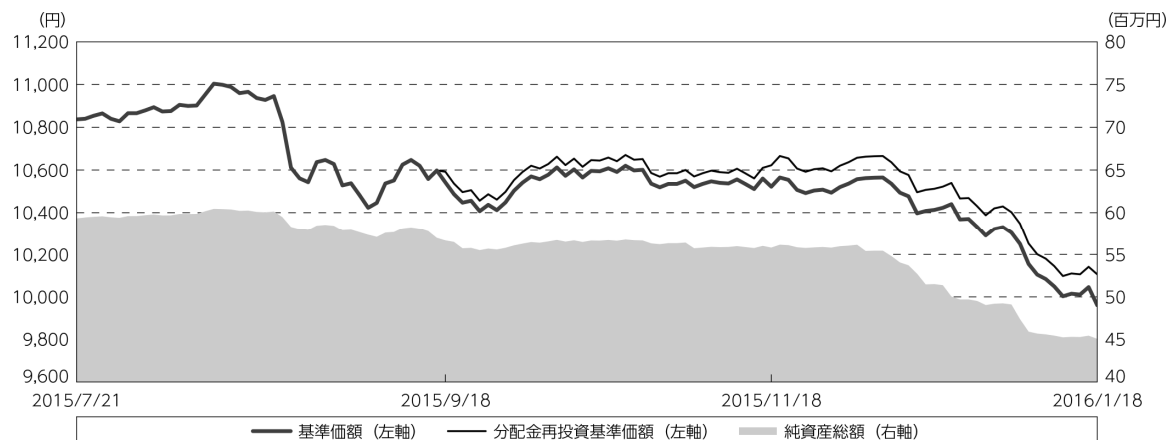
(注3) 投資信託証券組入比率は、「ウエリントン・マネージメント・ポートフォリオズ(ケイマン)ーエマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ(適格機関投資家限定)・円ヘッジなしクラスSユニッツ」(以下、「ウエリントンEMDP」といいます。)の組入比率です。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		しんきん欧州	しんきん米	しんきん	投資信託
		円	騰落率	ソブリンマザーファンド組入比率	ソブリンマザーファンド組入比率	高格付外国債券マザーファンド組入比率	
第45期	(期首) 2015年7月21日	10,837	—	29.5	19.7	29.4	20.4
	7月末	10,879	0.4	29.8	16.7	29.2	20.2
	8月末	10,647	△1.8	30.3	19.7	28.9	19.9
	(期末) 2015年9月18日	10,592	△2.3	29.4	19.2	29.2	20.6
第46期	(期首) 2015年9月18日	10,542	—	29.4	19.2	29.2	20.6
	9月末	10,437	△1.0	29.9	19.8	29.2	19.2
	10月末	10,535	△0.1	29.3	19.6	29.3	19.8
	(期末) 2015年11月18日	10,572	0.3	29.1	19.2	29.1	20.3
第47期	(期首) 2015年11月18日	10,522	—	29.1	19.2	29.1	20.3
	11月末	10,494	△0.3	29.0	19.1	29.0	20.3
	12月末	10,304	△2.1	30.0	19.7	30.0	18.7
	(期末) 2016年1月18日	10,011	△4.9	—	—	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

○当作成期中（第45期～第47期）の運用経過等（2015年7月22日～2016年1月18日） <当作成期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2015年7月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

当作成期間中の基準価額は、10,837円(2015年7月21日現在)でスタートし、2016年1月18日に9,961円となりました。当作成期間中の収益分配金累計額150円(税込み)を加えると10,111円となり、騰落率は△6.7%(分配金再投資後)となりました。

<投資環境について>

当作成期間中は、米連邦準備制度理事会(FRB)による政策金利上げがあったものの、中国の景気減速懸念や原油価格の下落などを要因に、主要先進国においては債券が買われて金利が低下(価格は上昇)しました。一方、為替市場では、中国の景気減速懸念によりリスク資産が売られたことから、投資家の間で信用力の高い円が買われる展開となりました。

また、新興国債券の信用スプレッド(米国債との利回り格差を示す信用スプレッドの拡大は、一般的に市場において新興国の信用力が低下していると考えられます。)は、中国、ブラジルおよびロシアといった新興国経済に対する懸念などを背景に、拡大しました。

<運用概況>

(運用経過)

当ファンドのポートフォリオは、欧州債券（「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」）を30%±10%、米国債券（「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」）を20%±10%、高格付外国債券（「しんきん高格付外国債券マザーファンド」）を30%±10%、新興国債券（「ウエリントン・マネージメント・ポートフォリオズ（ケイマン）－エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ（適格機関投資家限定）・円ヘッジなしクラスSユニット」）（以下、「ウエリントンEMDP」といいます。）を20%±10%、の組入比率となるよう調整しました。

なお、当ファンドは2016年1月15日の書面決議において、同2月15日の繰上償還が決定したことから、1月15日以降、当ファンドが投資対象とするマザーファンドおよびウエリントンEMDPを順次売却し、安定運用に切り替えました。

<収益分配方針>

第45期から第47期の収益分配金については、経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、各50円（1万口当たり、税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分につきましては、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第45期	第46期	第47期
	2015年7月22日～ 2015年9月18日	2015年9月19日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2016年1月18日
当期分配金	50	50	50
（対基準価額比率）	0.472%	0.473%	0.499%
当期の収益	22	24	15
当期の収益以外	27	25	34
翌期繰越分配対象額	2,388	2,363	2,330

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

当ファンドは2016年1月15日の書面決議において、同2月15日の繰上償還が決定したことから、償還まで安定運用を行ってまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2015年7月22日～2016年1月18日)

項 目	第45期～第47期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(23)	(0.214)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.267)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	外貨建資産について生じた雑費
合 計	56	0.524	
作成期間の平均基準価額は、10,549円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(注6) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2015年7月22日～2016年1月18日)

投資信託証券

銘 柄	第45期～第47期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内	千口	千円	千口	千円
ウエルントンEMDP	—	—	1.173	11,155

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第45期～第47期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	11,085	17,060
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		—	—	6,942	11,382
しんきん高格付外国債券マザーファンド		—	—	12,136	15,846

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年7月22日～2016年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年1月18日現在)

2016年1月18日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第44期末	
		口 数	金 額
ウエリントンE M D P		千口	1.173
合	計		1.173

親投資信託残高

銘	柄	第44期末	
		口 数	金 額
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		千口	11,085
しんきん米国ソブリン債マザーファンド			6,942
しんきん高格付外国債券マザーファンド			12,136

(注) 口数の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年1月18日現在)

項 目	第47期末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 45,382	% 100.0
投資信託財産総額	45,382	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第45期末	第46期末	第47期末
	2015年9月18日現在	2015年11月18日現在	2016年1月18日現在
	円	円	円
(A) 資産	58,045,874	56,161,382	45,382,813
コール・ローン等	1,133,275	1,695,222	1,237,459
投資信託受益証券(評価額)	11,652,888	11,317,443	—
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	16,639,138	16,242,027	—
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	10,881,538	10,692,827	—
しんきん高格付外国債券マザーファンド(評価額)	16,539,035	16,213,863	—
未収入金	1,200,000	—	44,145,354
(B) 負債	1,390,183	361,801	314,321
未払収益分配金	268,720	265,159	226,214
未払解約金	1,023,285	—	—
未払信託報酬	97,693	96,150	87,663
その他未払費用	485	492	444
(C) 純資産総額(A-B)	56,655,691	55,799,581	45,068,492
元本	53,744,137	53,031,922	45,242,958
次期繰越損益金	2,911,554	2,767,659	△ 174,466
(D) 受益権総口数	53,744,137口	53,031,922口	45,242,958口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,542円	10,522円	9,961円

(注1) 当ファンドの第45期首元本額は54,742,836円、当作成期中(第45期～第47期)における追加設定元本額は917,637円、同一部解約元本額は10,417,515円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第45期1.0542円、第46期1.0522円、第47期0.9961円です。

○損益の状況

項 目	第45期	第46期	第47期
	2015年7月22日～ 2015年9月18日	2015年9月19日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2016年1月18日
	円	円	円
(A) 配当等収益	—	2	1
受取利息	—	2	1
(B) 有価証券売買損益	△1,218,382	255,742	△2,227,350
売買益	259,708	671,801	109,491
売買損	△1,478,090	△416,059	△2,336,841
(C) 信託報酬等	△98,178	△96,642	△88,107
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,316,560	159,102	△2,315,456
(E) 前期繰越損益金	7,690,834	5,987,564	5,002,847
(F) 追加信託差損益金	△3,194,000	△3,113,848	△2,635,643
(配当等相当額)	(3,204,301)	(3,222,313)	(2,784,675)
(売買損益相当額)	(△6,398,301)	(△6,336,161)	(△5,420,318)
(G) 計(D+E+F)	3,180,274	3,032,818	51,748
(H) 収益分配金	△268,720	△265,159	△226,214
次期繰越損益金(G+H)	2,911,554	2,767,659	△174,466
追加信託差損益金	△3,194,000	△3,113,848	△2,635,643
(配当等相当額)	(3,204,576)	(3,222,552)	(2,784,806)
(売買損益相当額)	(△6,398,576)	(△6,336,400)	(△5,420,449)
分配準備積立金	9,630,696	9,309,815	7,758,739
繰越損益金	△3,525,142	△3,428,308	△5,297,562

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第45期計算期間末における費用控除後の配当等収益(120,058円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,204,576円)および分配準備積立金(9,779,358円)より分配対象収益は13,103,992円(10,000口当たり2,438円)であり、うち268,720円(10,000口当たり50円)を分配金額としています。

第46期計算期間末における費用控除後の配当等収益(131,022円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,222,552円)および分配準備積立金(9,443,952円)より分配対象収益は12,797,526円(10,000口当たり2,413円)であり、うち265,159円(10,000口当たり50円)を分配金額としています。

第47期計算期間末における費用控除後の配当等収益(70,371円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,784,806円)および分配準備積立金(7,914,582円)より分配対象収益は10,769,759円(10,000口当たり2,380円)であり、うち226,214円(10,000口当たり50円)を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

	第45期	第46期	第47期
1 万口当たり分配金 (税込み)	50円	50円	50円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

(注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金(特別分配金)」、残りの部分が「普通分配金」となります。

(注2) 個人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率が適用されます。

(注3) 法人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、15.315%(所得税15%および復興特別所得税0.315%)が源泉徴収されます。

(注4) 当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

(注5) 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

○お知らせ

当ファンドは、2016年2月15日に繰上償還します。